

国民健康保険の医療費について考える!

これからは予防の時代!!

～最近の瑞穂市の状況から～



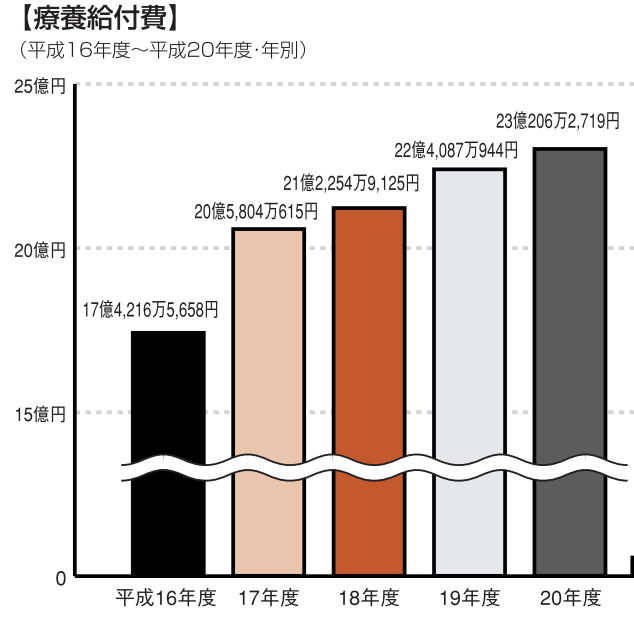
瑞穂市国保データ
国保加入者数
1万2805人
※市人口の25%が加入
 (平成21年9月末現在)

国民健康保険は市町村ごとの加入者全員で、加入者の皆さんがかかった医療費を皆さんで負担する制度です。年々増え続ける医療費により、国保の財政運営は厳しい状況にあります。今回は、国保の医療費についてお知らせします。

瑞穂市国保の医療費は増加傾向

療養給付費の比較

左のグラフは、過去5年間の療養給付費で、皆さんが病院でかかった医療費のうち、瑞穂市国保が負担している金額です。それが毎年3%～18%増加しています。



療養給付費3年間の比較

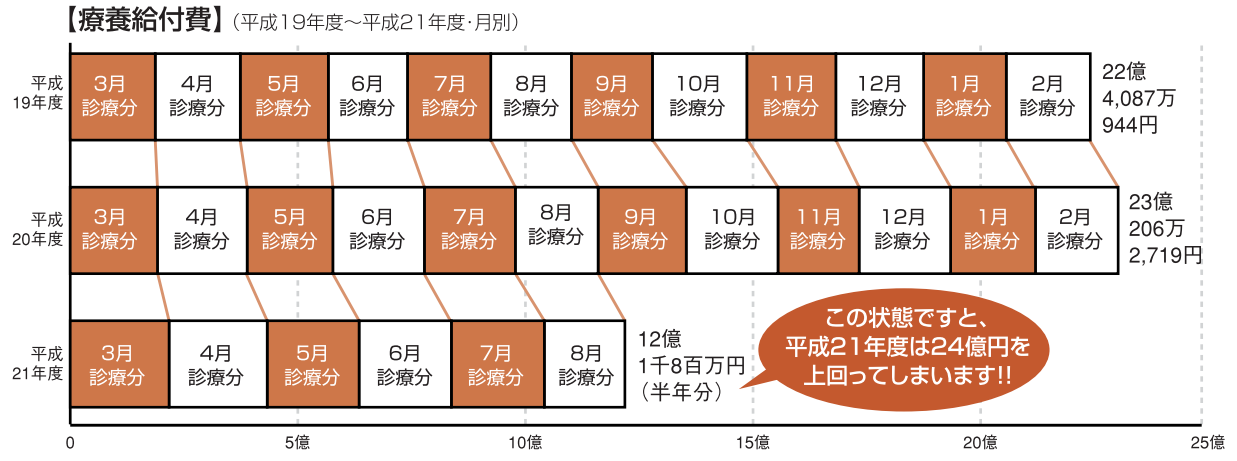
下のグラフは、平成19年度から21年度までの各月の療養給付費の比較です。平成19年度から平成20年度は、年間で6119万円増えています。平成21年度の半年分の集計では、前年比で5800万円の増加で、毎月1000万円ほど増えている状況です。



※療養給付費とは、瑞穂市国保が医療機関に支払う医療費です(療養費や高額療養費等は除く)。

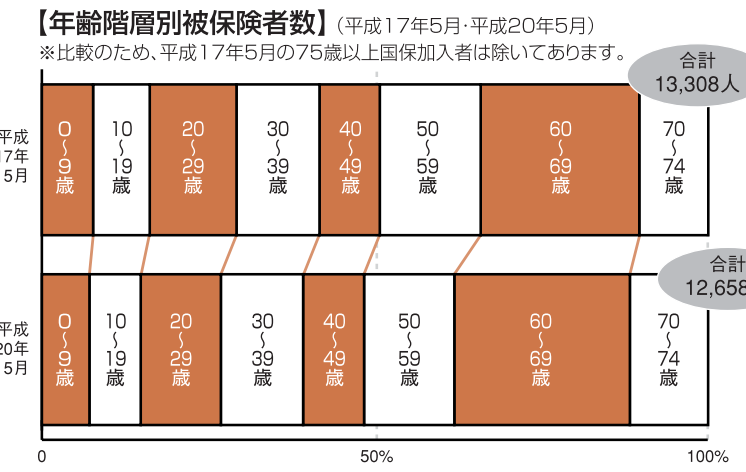
加入者年齢層

年齢階層別被保険者数のグラフでは、平成17年5月より平成20年5月では60歳以上の割合が33%から38%に増え、



この状態ですと、平成21年度は24億円を上回ってしまいます!!

国保加入者も高齢者が増えていることがわかります。今後も高齢化等により、さらに医療費が増加することが予想されます。



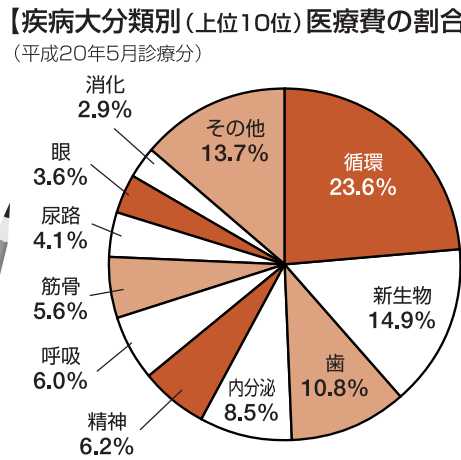
国保加入者の疾病別医療費

では皆さんは、どのような疾病で医療費がかかっているのでしょうか?

疾病大分類別医療費

平成20年度5月診療分で作成した、疾病大分類別(調剤は除く)の医療費

割合のグラフです。これによると、1位は循環(高血圧性疾患・虚血性心疾患等)、2位は新生物(悪性新生物・悪性リンパ腫等)、3位は歯科、4位は内分泌(甲状腺障害・糖尿病等)5位は精神です。生活習慣病と言われる循環・新生物・高血圧・ガン等)が38.5%で全体の3分の1を占めています。

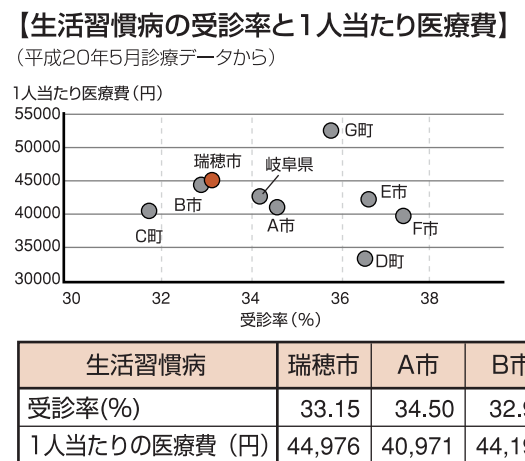


疾病・疾患別の受診状況

生活習慣病の医療費

岐阜地区内の生活習慣病の平成20年5月診療分の状況です。1人当たり医療費と受診率に着目してください。岐阜県では1人当たり医療費4万26050円、受診率は34.10%です。瑞穂市は1人当たり医療費4万4976円、受診率は33.15%で、岐阜県合計より1人当たりの医療費は2326円高く、受診率は0.95%低くなっています。一概

には言えませんが、他市町村の状況も見てみると、受診率の高い市町村は1人当たり医療費が低くなる傾向が見られます。これは軽症のうちに受診し、結果的に医療費が抑えられたと考えられます。重症化してから受診すると、治療に日数も医療費もかかってしまいます。早期発見・早期治療で、軽症のうちに受診することが医療費の適正化に繋がります。



早期発見・早期治療のための特定健診・特定歯科健診

早期発見・早期治療のために、特定健

診・特定歯科健診をご利用いただくようお願いいたします。特定健診は、健診結果により生活習慣病のリスクが高いと判断された方には、特定保健指導を受けていただくことができます。これにより疾病予防、早期発見・早期治療により重症化の予防がされ、医療費の適正化に繋がります。これからは「予防の時代」です。

特定健診は、平成21年度10月22日現在、該当者7681人中2188人が受診されています。特定健診・特定歯科健診は受診期間が10月末まででしたが、受診期間を延長して今年度末まで受診できるようにしました。まだ受診されていないかたは、ぜひ早めに受診していただき、生活習慣の改善による疾病予防を心がけてください。

国保の医療費は国保加入者全員で負担する仕組みになっています。このまま医療費が増え続ければ、国民健康保険の税率を改定しなければならぬ事態になります。そのためにも、医療費の適正化により疾病予防、早期発見・早期治療、重症化の予防を心がけていただくようお願いいたします。

問い合わせ
医療保険課
327-4159

